

報 告 書

島田市議会議長 佐野義晴様

島田市議会議員 福田正男

島田市議会議員 八木伸雄

島田市議会議員 青山真虎

島田市議会議員 杉野直樹

島田市議会議員 仲田裕子

島田市議会議員 河原崎聖

島田市議会議員 平松吉祝

議会報告会に出席しましたので、次のとおり報告します。

- 1 日時 平成26年5月21日（水）
午後7時05分～午後8時53分
- 2 会場 島田市役所会議棟 大会議室
- 3 参加者数 18人（男性 17人、女性 1人）
（島田青年会議所）
- 4 役割
 - (1) 受付 全 員
 - (2) 司会 杉野直樹
 - (3) 挨拶（概要） 福田正男
 - (4) 報告 総消委：河原崎聖
厚教委：青山真虎
経建委：平松吉祝
 - (5) 答弁 全 員
 - (6) 記録 仲田裕子

5 報告事項

(1) 議会の活動の動向の市民への報告について

① 総務消防常任委員会

自治基本条例の件・市民会館の件・事業仕分けの件・平和都市宣言の件・本年度より議場放映を開始する件・過疎地域における過疎債変更の件を説明。

② 民生病院教育常任委員会（厚生教育）

川根小学校建てかえに関して、当局側の財源の流れの説明不足から当初予算から膨大に増えた予算措置に対して、付帯意見を付けて可決した経緯を説明。

③ 経済建設生活常任委員会（経済建設）

当常任委員会が所管する「くらし環境部・産業観光部・建設部」等の説明。最終処分場の件・下水道事業が遅れている件・産業活性化事業の補助金の件を説明。

④ 報告に対する質疑

◎箱物行政というが、市民会館が使用できない状況を打破する方法や解決策があれば教えてほしい。

◎事業仕分けは、誰が、どのように行うのか。

⑤ 市民病院の経営及び建設に関する特別委員会の今までの経緯の説明を行った。

(2) 意見及び情報の交換について（今回はテーマ設定なし。）

質疑：歳出ばかり問題視するが、どうしたら歳入をふやすことができるか。また、税金を上げる政策が大事ではないか。

議員：◎企業誘致で雇用と納税に結びつける。

◎市の事業は市内の業者に優先的に仕事を与える。市内の業者を使って、市に税金を戻し活性化させる。

質疑：ゆめ・みらい百人会議の声はどのように反映されるか。

議員：議員は入れないので何とも言えないが、ゆめ・みらい百人会議にも疑問はある。

質疑：博物館や指定管理の施設は管理費がかかり無駄では。

議員：博物館は無駄とは言えない。文化は大事である。指定管理により、市の財政は軽減されている場合もある。

質疑：議員の最大の役割は行政チェックである。付帯以上の措置はないのか。

議員：常任委員会で否決する方法があるが、本会議で否決するとは限らない。否決した場合、川根小学校の建てかえはできなくなる。今回の付帯は建てかえには賛成だが、過疎債の変更など、予算（財源）措置の経緯の説明に対しての付帯意見である。

質疑：川根温泉ホテルの指定管理に疑問である。併せてホテルの建物の外観の色は疑問である。

議員：雇用の確保や川根地域の活性化に期待する。小学校の建てかえなど、旧川根町ではできなかったこともある。ホテルの色は市が決めた。

質疑：大井川鐵道の将来を議会としてどう議論したか。

議員：SLは、観光面でも市として守るべきと考える。

(3) 市等への要望事項

◎各施設の利用については近隣市町と広域的に考える方法もあるが、利用料金が他市の施設を借りる場合、高額である。広域と言うなら料金も同じ金額で借りることができるようにすべきではないか。

◎立割行政なので、担当外と回される、一括した相談窓口を設置すべきではないか。

◎青年会議所の海洋研修船「とうかい号」へ市の職員も乗船し、研修を受講してはどうか。

終了後に、

◎ふるさと納税の納税者への記念品を市民から公募してはどうか。

6 まとめ（所見）

青年会議所の若い方の意見が聞くことができ、有意義な報告会であった。議会として得る課題や提案を把握することができ、議員としても大いに参考となった。

今後、各団体との意見交換を通じて、議員の質の向上に努めたい。